

奥卯辰山健民公園の令和2年度管理状況

様式2

施設所管課	土木部公園緑地課課
施設管理者	(株) 岸グリーンサービス
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
中期経営目標 (H29～R3)	①公園利用者を5年間で5%増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・ 利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節ごとの公園の魅力や施設の特徴を生かした自主事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ パークゴルフ場(利用者数19,756人) ・ オープンカフェ(利用者数10,831人) ・ ネイチャースクール(参加者数43人) ・ アートギャラリー(利用者数201人) ・ ネイチャーウォークラリー(参加者数97人) ・ 稲刈り体験学習会(1回)(参加者数83人) ・ 親子アートスクール(参加者数127人) ・ サービス向上への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ ちびっこゲレンデでのそりの貸し出し(2,304台) ・ 公園の四季に合わせた見所紹介案内マップを作成し、配布 ・ デイキャンプ場利用者にバーベキュー用の食材販売 ・ 手ぶらで来園しても楽しめるよう、スポーツ用品や遊具の貸し出し ・ とんぼテラス内でインターネット環境を整えた、フリースポットのサービス
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページでのイベント告知や四季折々の風景の掲載、ブログ形式のリアルタイムな情報提供 ・ ホームページ、チラシ、情報誌等による公園やイベントの広報 ・ 企業、公民館、大学、高校等にデイキャンプ場の利用案内を送付 ・ 月ごとに見所やイベント等をまとめて掲示板に貼るための、公園広報紙の作成

(2) 令和3年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページなどを活用し、公園の魅力の発信に努め、公園利用者の増大につなげる。 ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底したうえで、小規模なイベントを複数開催する。 ・ 公園利用者の要望等に対し、可能な限り迅速に対応する。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H27年度 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度	前年度比	基準値比	R3年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	193,685人	183,284人	174,540人	142,070人	81.4%	73.4%	204,000人
(2) 貸館稼働率(%)							
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	98.3	99.6	96.6	99.5	2.90 ^{ポイント}	1.20 ^{ポイント}	95.0
施設の維持管理(%)	99.2	99.4	98.5	100.0	1.50 ^{ポイント}	.80 ^{ポイント}	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、施設の閉鎖や自主事業の中止による減。	・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、施設の閉鎖や自主事業の中止による減。
貸館稼働率		

<利用者アンケート結果（令和2年4月～令和3年3月 有効回答数417件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	71.5	28.0	0.5	0.0
施設の維持管理(%)	79.6	20.4	0.0	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・園路、駐車場（適宜） ・排水桝、側溝（年2回） ・便所、炊事棟清掃（日1回） ・公園センター（日1回） ・池（適宜）
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・し尿浄化槽維持管理（年5回） ・電気設備保安点検（年6回） ・消防設備保守点検（年1回） ・散水栓点検（適宜）
(3) 植栽維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木管理：剪定（年2回） 病虫害防除（適宜） 雪吊り（年1回） 枯損木、枯損枝処理（適宜） ・芝生管理：刈り込み（年12～25回） 施肥（年2回） 殺菌剤（年2回） 更新作業（年1回） 目土（年1回） ・園内除草（年6回） ・バラ管理：除草、施肥、剪定、消毒（適宜） ・花壇植栽（年3回）
(4) 警備	<ul style="list-style-type: none"> ・園内巡回（日2回） ・公園センター夜間機械警備（毎日）
(5) 小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・園路や側溝の補修 ・給水ポンプやトイレ設備修繕 ・ロープ柵修繕 <p style="text-align: right;">ほか、老朽化した施設更新</p>
(6) 運動施設、遊具等維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプ場：点検（適宜） ・多目的グラウンド：点検、不陸整正、除草（適宜） ・水田：田植え等（年1回） ・遊具：日常点検（日1回）、定期点検（月1回） 専門点検（年1回）

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの策定 ・消防訓練の実施 年1回
(2) 個人情報の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき、適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
デイキャンプ場	1,137	0	
合計	1,137	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項目	収入額	減免額	減免理由
デイキャンプ場	2,137	0	
合計	2,137	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	57,064	人件費	12,599
利用料収入	2,137	光熱水費	3,542
自主事業収入	9,094	修繕費	4,163
その他	0	緑地等施設管理費	35,958
		その他	11,956
合 計 ①	68,295	合 計 ②	68,218
収支差額 ①-②	77		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和2年4月	遊具やトイレを増やしてほしい。	現状維持
令和2年8月	もっと花などを植えてほしい。	量などを検討するが、基本現状維持
令和2年8月	木のおもちゃを置いて、いつでも遊べるようにしてほしい。	新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、設置の有無を検討
令和2年10月	園路沿いにベンチを置いてほしい。	設置場所などを検討

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
令和2年7月	こども広場付近でクマ1頭が出没。	パトロールの強化、園内放送や看板による注意喚起、クマ除け鈴の貸出などを実施。
令和3年2月	積雪約10cm、丸太製の蹴上踏面がある斜面で男性が転倒し、負傷（底面に溝がないスニーカーを履いていたため、滑ったと考えられる）。	救急車を手配し、病院に搬送。
令和3年2月	ハンモック広場付近でイノシシ1頭が出没。	園内放送による注意喚起を実施。

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、パークゴルフ場やディキャンプ場の閉鎖により利用者減となったが、EQ力（心の知能指数）を高める親子体験型のイベントなど、利用者のニーズや最近のトレンドを取り入れた多種多彩な自主事業を積極的に実施している。 ・パークゴルフ場を整備し、国際パークゴルフ協会（現日本パークゴルフ協会）の公認コースの認定を受けるなど生涯スポーツの発展と利用促進に努めている。 ・里山保全園地を活用し、地元小学校と連携した稲刈りなどの自然体験学習を実施している。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の補修等を積極的に行い、安全性と良好な景観の維持に努めている。 ・危険箇所や不良箇所の割り出し・対応に努めている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・クマやイノシシの出没等、緊急事態の際には、速やかな連絡体制および迅速な現場対応体制を整え、事態の収束に努めている。 ・3ヶ月に1回、岸グリーンサービス本社による公園パトロールを実施。通常管理者以外の目で現地確認することで、よりきめ細やかな管理に努め、仕様書に定める水準以上の管理運営を実施している。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多彩な自主事業を積極的に実施している。 ・芝生管理の専門的なノウハウを生かし、良好な管理を実施。利用者の利便性向上に努めている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項